

## えひめ移住交流促進協議会設立趣意書

全国より早いペースで人口減少や高齢化の進む本県では、中山間地域や島嶼部など過疎地域を中心に、都市部との経済格差の拡大や地域社会の活力低下が懸念されています。

一方、生活の質や多様な価値観が重視される成熟社会において、本県のような穏やかな自然風土や温かな人情に恵まれた地方は、健康で豊かな生活や、新たな可能性を求める都市住民にとって“新天地”であり、近年、新たな生活や活動の場として魅力や価値が高まっております。

本年から団塊世代の大量退職期を迎え、都市から地方への移住や地域間交流の気運が高まりつつある今こそ、大都市圏から本県への移住や交流を促進することで、多くの人々が生きがいや心の豊かさを実感でき、県内に活力があふれる地域社会を実現するチャンスを迎えていると言えます。

移住交流の促進は、受入側地域にとって、経済活動の拡大や専門知識・経験を持つ人々による地域コミュニティ活動など、様々な面で地域の活性化への貢献が期待されており、また、移住交流の取組みそのものが、県民一人ひとりに、ふるさとの魅力や住みやすさなどについて見直すきっかけとなり、このことが、ひいては「輝くふるさと愛媛づくり」の実現に結びつくものと確信するものがあります。

全国に約 680 万人いる団塊世代等の誘致を巡って、全国規模での地域間競争が展開される中、本県への移住交流の拡大を図るためには、移住交流希望者の多様なニーズに即した情報やサービスを一元的に提供する体制の整備や、県内各地域の特性等を踏まえた戦略的・効果的な取組みが不可欠となります。

そのためには、県内の行政機関をはじめ、就業・就農、居住、地域コミュニティ、ツーリズムなどに関連する幅広い機関・団体の参画を得て、総合的な推進体制を構築することが必要であり、それぞれの相互連携と機能・役割分担のもと県内への移住交流の促進を図ることにより、魅力と活力ある地域づくりを推進するため、ここに『えひめ移住交流促進協議会』を設立するものです。